

## 奨励品種決定調査への主な供試系統・品種

埼玉県農業技術研究センター  
品種開発・ブランド育成研究担当  
高度利用・生産性向上研究担当

### (1) 平成 29 年度水稲本調査供試系統 (案)

品種系統名	組合せ		熟期	供試開始年度	特徴
	母	父			
むさしの 27 号	むさしの 23 号	むさしの 21 号 (彩のきずな)	晩生	平 27	多収、 高温登熟性やや強、 良質、良食味、 病虫害複合抵抗性、大粒
むさしの 29 号	彩のかがやき	※	晩生	平 27	やや少収、 高温登熟性中、 良質、良食味、 病虫害複合抵抗性、 彩のかがやき NIL

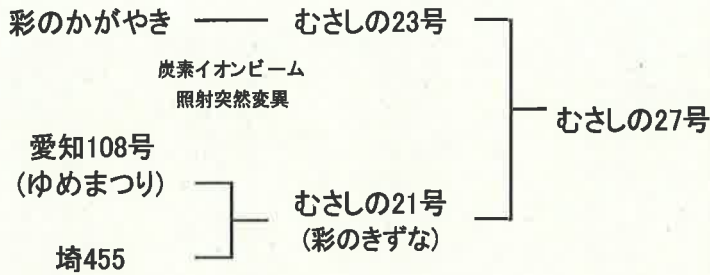
※：彩のかがやき\*3/F6 (彩のかがやき/東北 192 号)

### (2) 平成 28 年度麦類本調査供試系統

麦種	品種系統名	組合せ		供試開始年度	特徴
		母	父		
大麦 (皮麦)	関東皮 102 号	関東皮 86 号	関東皮 74 号	平 27	麦茶用、 早生、長稈、 外観品質良
大麦 (はだ か麦)	新田系 90	木系 06668	四国裸糯 119 号	平 25	二条、高βグルカン、 短稈

# 水稻有望系統「むさしの27号」について

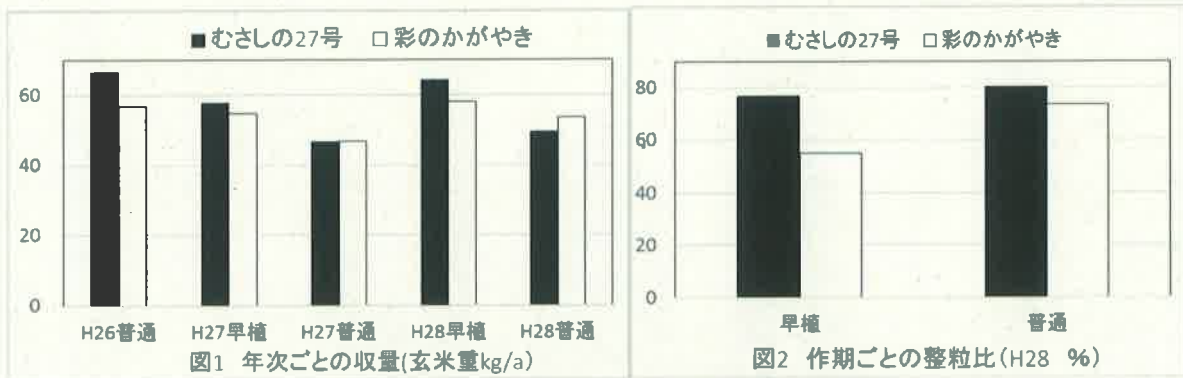
## 1 系 譜



むさしの27号の草姿

## 2 特性概要

- (1) 高温耐性は「やや強」で、高温条件でも品質の低下が小さい（写真参照）。
- (2) 「彩のかがやき」と出穂期および成熟期は同程度～1日遅い、晩生種。
- (3) 「彩のかがやき」より稈長・穂長はやや長く、穂数が多い「偏穂数型」。
- (4) 大粒で、収量は「彩のかがやき」と比較して早植で10%程度多収。
- (5) 耐病性、耐倒伏性は「彩のかがやき」と同等で強い。
- (6) 食味は「彩のかがやき」と同程度。



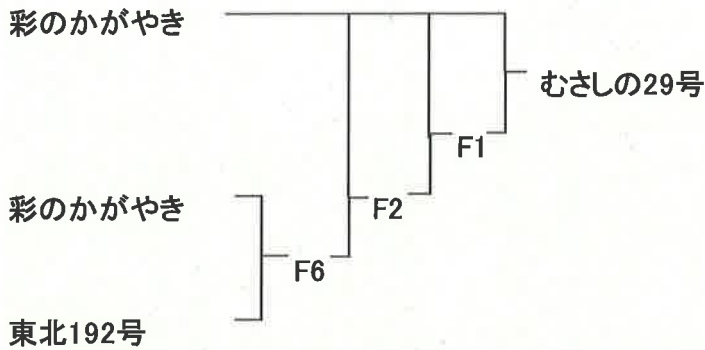
むさしの27号      彩のかがやき

## 3 平成29年度の取り組み

奨励品種決定現地調査（3年目）を県内8か所で実施し、県内各地での適応性を検討する予定である。

# 水稻有望系統「むさしの29号」について

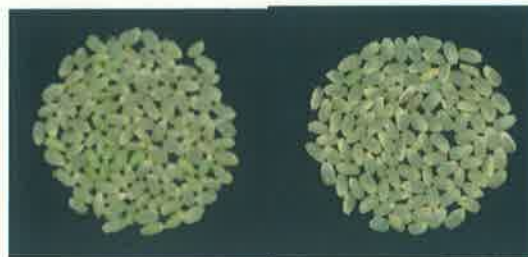
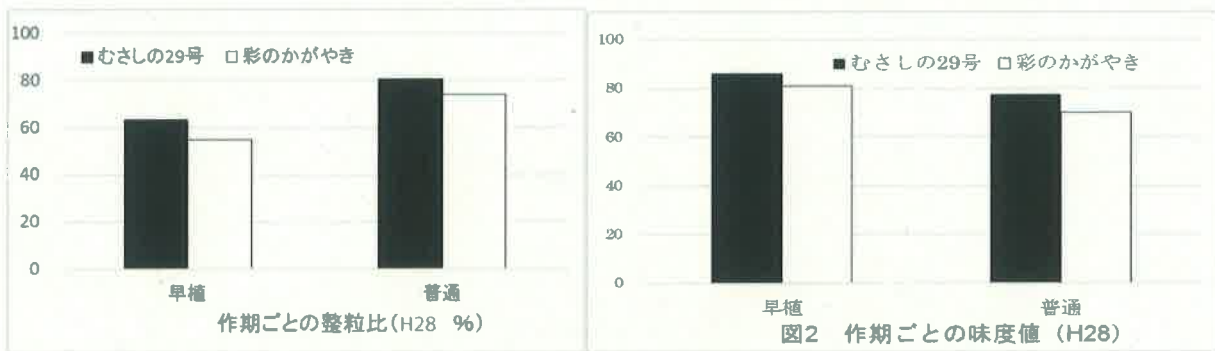
## 1 系譜



むさしの29号の草姿

## 2 特性概要

- (1) 「彩のかがやき」に高温耐性遺伝子を導入した「彩のかがやき」高温耐性準同質遺伝子系統。
- (2) 高温耐性は「中」で、「彩のかがやき」より高温条件でも品質の低下が小さい（写真参照）。
- (3) 「彩のかがやき」と比較して、出穂期は早植えて5日程度、普通植で4日程度遅い、晩生種。
- (4) 「彩のかがやき」より稈長・穂長はやや長く、穂数は同程度の「中間型」。
- (5) 千粒重は同等、収量はやや低い傾向。
- (6) 耐倒伏性、耐病性は「彩のかがやき」と同等で、強い。
- (7) 食味は「彩のかがやき」と同程度。だが、味度値は高い傾向にある。



むさしの29号 彩のかがやき

## 3 平成29年度の取り組み

奨励品種決定現地調査（2年目）を県内8か所で実施し、県内での適応性を検討する予定。

# 六条大麦有望系統「関東皮 102 号」について

## 1 来歴

- (1) 育成地 国立研究開発法人  
農研機構 次世代作物開発研究センター (旧作物研究所)
- (2) 交配組み合わせ 関東皮 86 号 (後の「カシマゴール」) × 「関東皮 74 号」

## 2 特徴

- (1) 主に麦茶用として利用が期待される六条大麦である。
- (2) 早生であり、「すずかぜ」に比べ出穂期で 7 日、成熟期で 2 日早い。  
(平成 28 年産の奨励品種決定調査結果)
- (3) 近年、本県においても被害が拡大しているオオムギ縮萎病に抵抗性を持ち、罹病性の「すずかぜ」に比べ、安定生産が期待できる。
- (4) 外観品質は「すずかぜ」に比べ良好である。(平成 28 年産の農産物検査員による見込み等級「関東皮 102 号」: 1 等、「すずかぜ」: 等外)
- (5) 麦茶への加工適性について、実需者による簡易焙煎試験を行ったところ、概ね良好な評価であった。



麦茶焙煎機



焙煎した麦を麦茶にしたもの (右: 関東皮 102 号、左: すずかぜ)

## 3 平成 28 年播(平成 29 年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(初年目)を県内 2 カ所で実施し、現地適応性を検討中である。

## 二条はだか大麦有望系統「新田系 90」について

### 1 来歴

- (1) 育成地 サッポロビール株式会社  
バイオ研究開発部 麦育種開発センター
- (2) 交配組み合わせ 木系 06668×四国裸糯 119号(後の「キラリモチ」)

### 2 特徴

- (1) 主に精麦や大麦粉として、各種加工品への利用が期待される二条はだか大麦である。
- (2) 機能性成分であるβ-グルカンを豊富に含み、健康食品として期待される。
- (3) 現在、県内一部で栽培されている高β-グルカン二条はだか大麦「もっちりぼし」に比べ、出穂、成熟は同等、短稈であり、収量は年次により変動があるが、概ね同等である。
- (4) 現在、β-グルカンを豊富に含む二条はだか大麦への注目は高く、実需者からは作付けの拡大を要望されている。



写真：永倉精麦㈱HPより。  
(県産「もっちりぼし」使用)

### 3 平成 28 年播(平成 29 年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(初年目)を県内2カ所で行い、現地適応性を検討中である。